

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 601 2017年
1部60円 11月号
友の会会員は会費に含まれています
発行 東京勤労者医療会代々木病院
院長 河邊 博正
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL 03(3404)7661
<http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi>

代々木訪問看護ステーション

安心して在宅で暮らせる環境づくり

2016年10月、代々木、ほんまち、戸山、経堂すずらん訪問看護ステーションが統合し、大型訪問看護ステーションとなりました。もうすぐ1年になります。

代々木訪問看護ステーション
統括所長
嶋田直子

統合サテライト化したことで、職員の行き来がしやすくなり、お互いの事業を助け合いながら展開する事が出来るメリットがあります。また業務改善を組織的に図る事ができる事、将来的には、緊急時の対応などを全職員で4箇所をカバーできるように仕組むつもりをめぐっています。

私たちは、集合研修・交換研修、異動などを通じて身をもって経験してきました。そういった地域性を理解し、安心して在宅で暮らしていける環境づくりを支援し続けています。

4つのステーションで長年にわたって地域を支えてきた所長たちがいます。それぞれの経験と知識をもってこの超高齢化社会の中で訪問看護師が果たす役割を継承していきたい。若い看護師を育てていきたいと考えています。



今号は、訪問看護ステーションの4人の所長から話を聞きました。

在宅医療を支える
4つの訪問看護ステーション

サテライト
ほんまち 所長
高木有理

代々木訪問看護ステーションサテライトほんまちは、1998年3月「ほんまち訪問看護ステーション」として出発し、はたがや協立診療所をはじめ近隣の病院、地域の開業医の先生方と連携しながら、健康を守る立場に立ち、長年活動してきました。

渋谷区本町、初台、幡ヶ谷とその周辺を中心に看護師7名、理学療法士2名、言語聴覚士1名、事務1名で「最後まで住み慣れた地域でその人らしく生活する」事を支える為、元気で明るいスタッフが毎日訪問し頑張っています。

これからも地域の皆様へ愛され、信頼される訪問看護ステーションを目指します。

サテライト
経堂すずらん 所長
松永 重

代々木訪問看護ステーションサテライト経堂すずらんです。世田谷地域にお住まいの友の会会員さんたちの運動によってできた、農大通り診療所開設から5年後の平成12年に開設しました。(小

サテライト戸山
所長
田内香芽

代々木訪問看護ステーションサテライト戸山は、新宿区大久保にあり、病気や障害を持った人が住み慣れた地域やご家庭で、その人らしく療養生活を送れるようお手伝いをさせていただいています。看護師5名と理

千駄の萱

10月現在稼働しているのは5基。日本の原発である。東京電力福島第一原子力発電所の廃炉作業工程が修正発表された。いわゆる中長期ロードマップだ。格納庫に落ちている燃料デブリを取り出す時期を三年先延ばしにするという。廃炉は30年から40年先になるとも▼また原子力規制委員会は東電の原発で事故後初めて柏崎刈羽原発の再稼働を認める見解をまとめた。絶対に許せない▼先日、福島に住む人生の先輩を訪ねた。畑から採れたての美味しい枝豆を前に、その時ポツリと呟くように言った言葉が忘れられない▼今年は春から天気がよくなくて、村人の中には「豆に実が入らなくて今年はダメだ、あきらめた」という声があつたけど、何とか頑張ったよ。でも孫たちは食べないし、遊びにも来なくなりました▼事故から6年あまり、肝心の事故原因究明も収束も除染もできていない。そもそも原発のゴミ処理方法も決まっていない▼一日も早く、すべての原発を廃炉にする決意と行動を政府に求めている。市民と野党の共闘で▼私たちは負けなやめないのだから。(み)